

保護帽

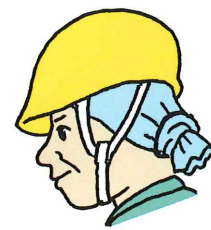
保護帽は型式検定合格証（労・検ラベル）が貼付されているものを使用しましょう。



保護帽の型式	型式名称 168-F2Z
帽体材質	保護帽 帽体材質 ABS
検定取得年月	労(2024. 5)検
検定番号	(1)TH2825 (2)TH2826 (3)TF694
製造業者名	製造業者 ○○○○
製造年月	製造年月 2025. 1
区分	(1)飛来落下物用 (2)墜落時保護用 (3)電気用7,000V以下

労・検ラベルの例

保護帽のあやまった被り方



✕ タオルを巻いたり保冷剤を入れたりしない



✕ あごひもが緩い



✕ あごひもがツバの上



✕ あごひも締めず



✕ ななめ、後ろ前



✕ アミダかぶり

保護帽の着用ポイント

必ず保護帽を着用！



特に ① と ③ を忘れずに！
(死亡災害時によく見られた、忘れやすいポイントです)

着用時
⑤つのポイント

- ① 「墜落時保護用」を使用すること
- ② 傾けずに被ること
- ③ あごひもをしっかりと、確実に締めること
- ④ 破損したものは使わないこと
- ⑤ ヘッドバンドは、頭の大きさに合わせて調節すること

① 要チェック！

保護帽内側に貼られている「労・検ラベル」等に用途が書かれています！

③ 参考

あごひもと耳ひもの接続部分を留め具等で固定すると、衝撃で保護帽がズレにくくなります！

トラック荷台への昇降

最大積載量が **2t 以上** の貨物自動車（トラック）に荷物の積卸しをする際は昇降設備の設置と**保護帽**の着用が必要です。

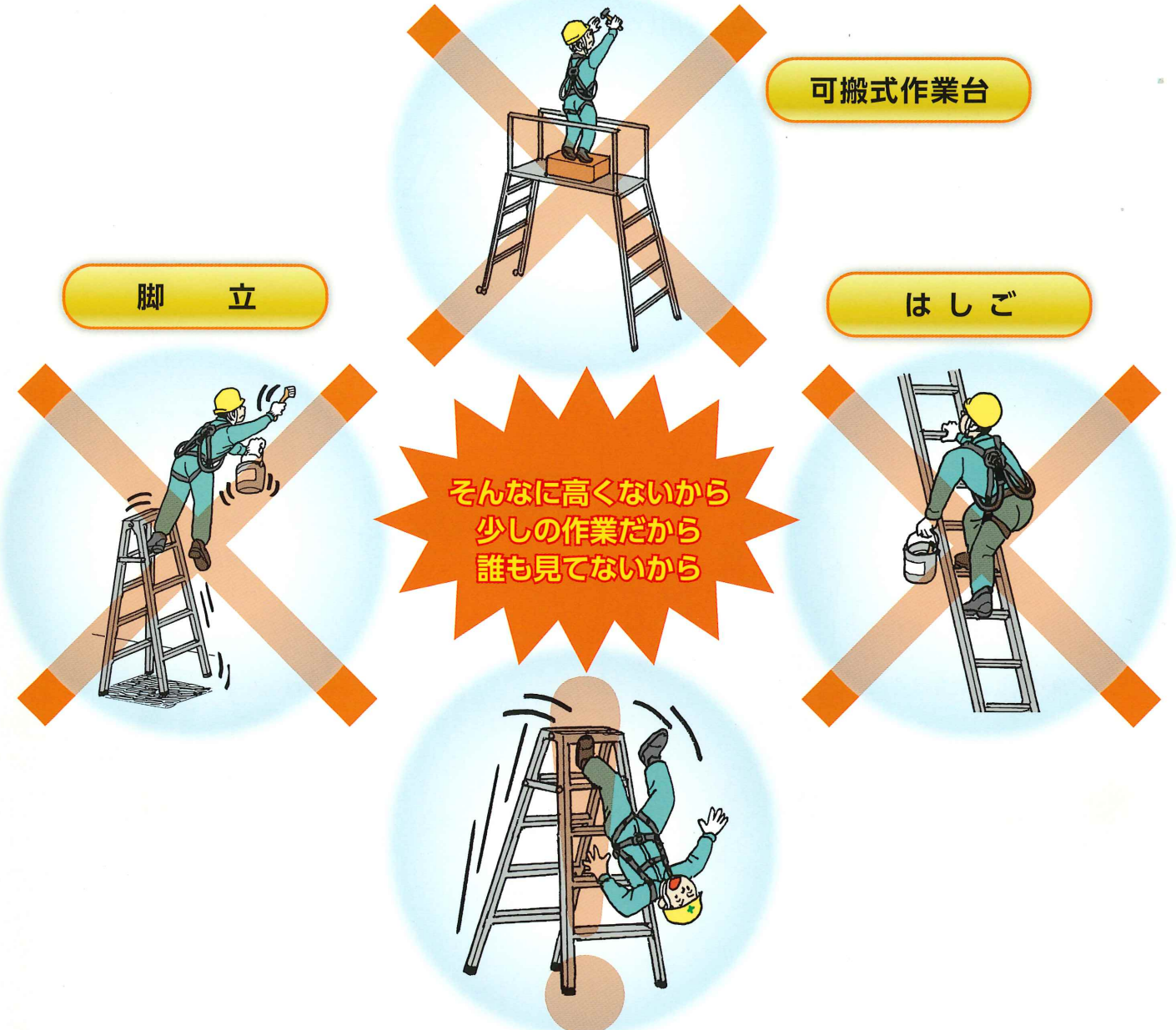


可搬式の踏み台等の例

脚立・はしご昇降設備に関する詳細については、木造家屋等低層住宅建築工事墜落防止標準マニュアルをご確認ください。



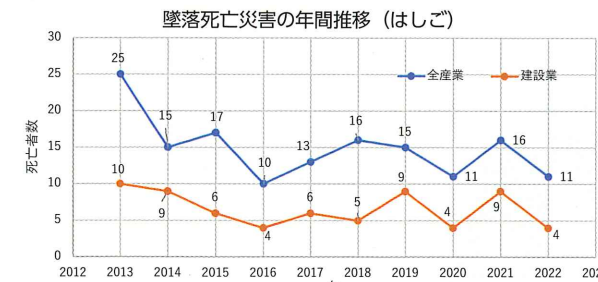
低所での作業 あなたは油断していませんか？



※脚立からの労働災害は、思っているより多く発生しています。

参考：労働安全衛生総合研究所による調査分析より

はしご、脚立に起因する労働災害の分析



- はしごまたは脚立からの墜落によって年間20～30件の死亡災害が発生している。(全産業、2013年～2022年の10年間の平均値)。
- このうち建設業は約半数を占めている。
- 低所からの墜落による死亡災害では、頭部外傷死が多数を占める。



- 死亡災害の被災者は、次のいずれかに該当する場合が大半である。
①「保護帽未着用」、②「飛来物用の保護帽着用」、③「保護帽が脱落」
- 死亡災害防止のためには、墜落時保護帽を脱落することなく着用することが極めて重要である。

※統計データは「職場の安全サイト」死亡災害データベースより集計したもの

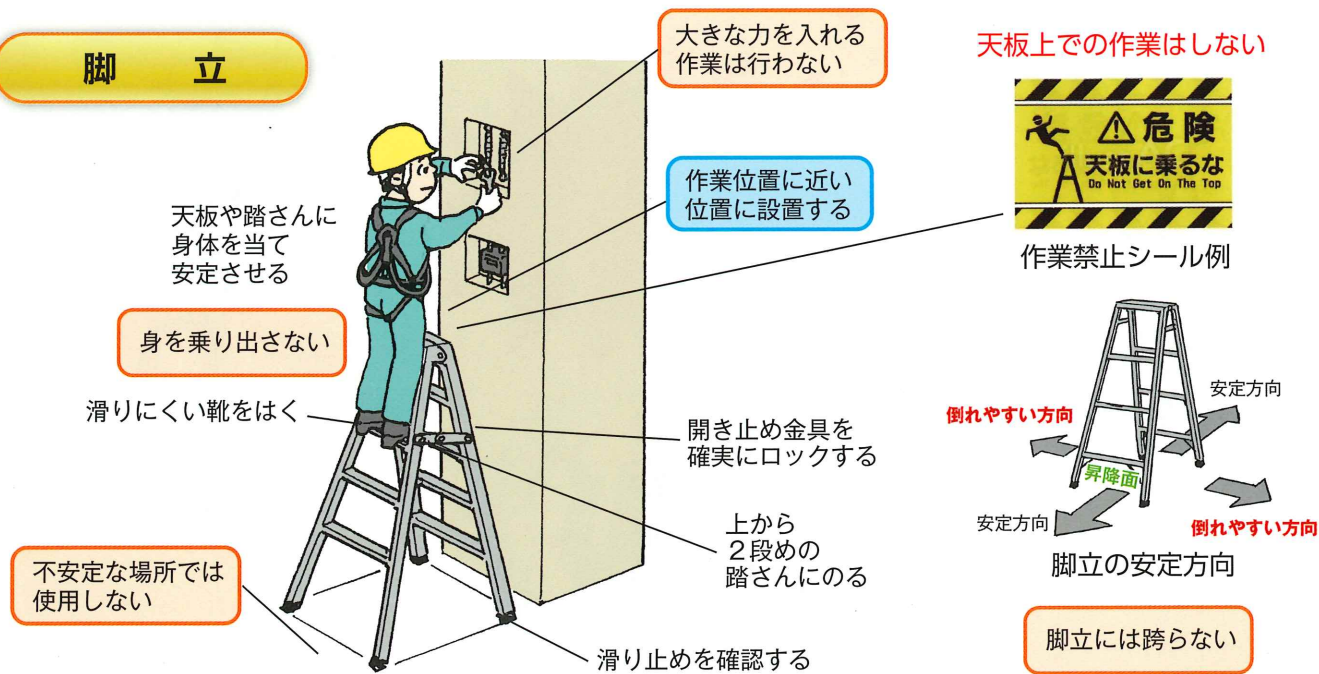
脚立・可搬式作業台

作業を行う際には、必ず作業に適したヘルメット、安全靴等の保護具を着用しましょう。

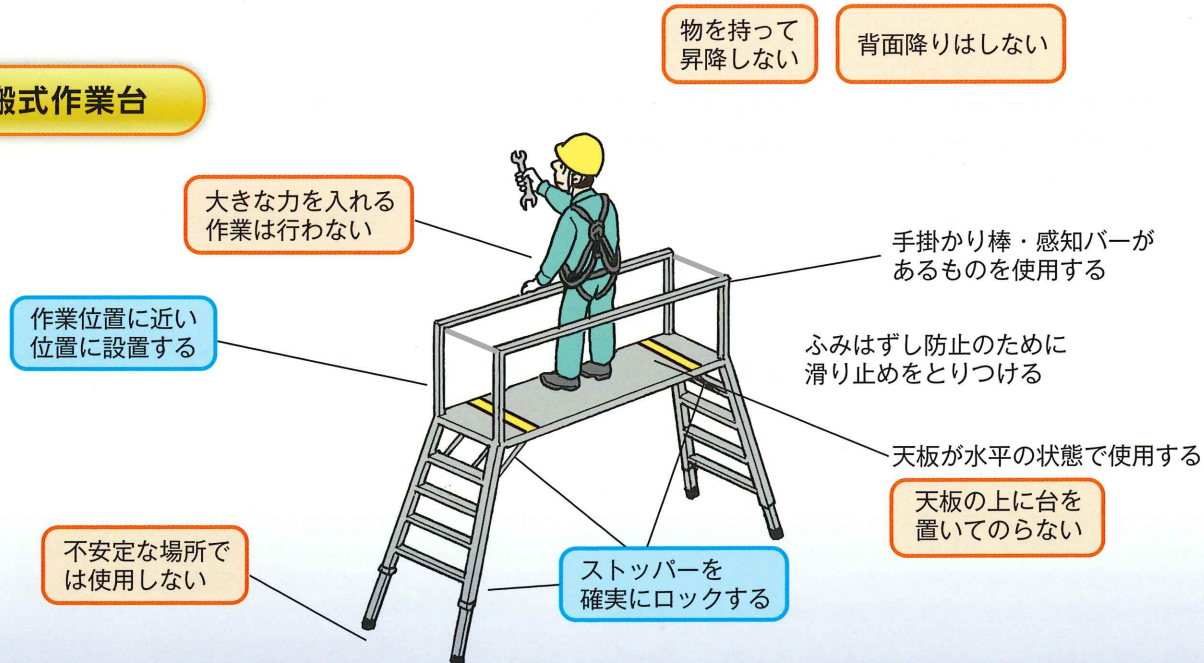
いずれかの表示マークがついているものを使用しましょう。

機 材	表 示 マ ー ク			
脚立・可搬式作業台	 日本産業規格	 製品安全協会	 軽金属製品協会 はしご脚立部会	 仮設工業会

脚 立



可搬式作業台



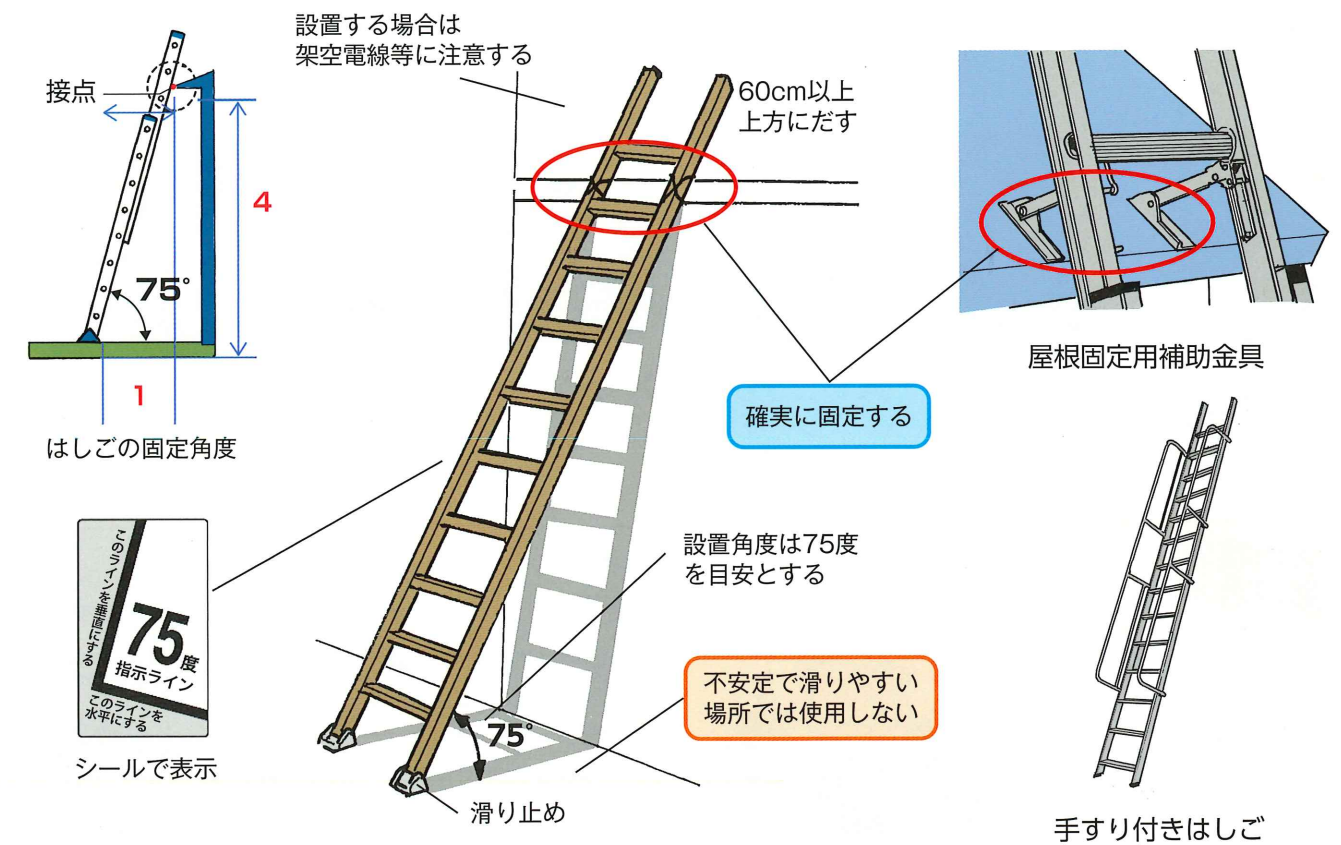
※リーフレット内の は作業に関する注意事項
 は設置に関する注意事項

は し ご

はしごは昇降のみに使用しましょう。
はしご上で作業しないようにしましょう。

いずれかの表示マークがついているものを使用しましょう。

機 材	表 示 マ ー ク		
はしご	 日本産業規格	 製品安全協会	 軽金属製品協会 はしご脚立部会



三点支持での昇降